令和２年度　第２回天王寺区教育会議　次第

日時：令和３年３月 23 日(火)19 時 30 分～

場所：天王寺区役所 講堂

１　天王寺区 未来人材育成に関する取組について

（１）学校教育の支援（学力・教育環境向上の取組）

①　校長経営戦略支援予算（区担当教育次長執行枠）

②　中学校キャリア教育の支援

③　こどもサポートネット事業

④　スクールカウンセラー事業

⑤　学校図書館の活用

（２）社会教育関連の取組

①　グローバル人材の育成

②　天王寺区ジュニアクラブ事業

③　こどもの居場所等における学び・生活サポート事業

④　民間事業者を活用した中学生学習支援事業

⑤　防災教育の取組

〔配付資料〕

・天王寺区教育会議委員名簿（令和２年９月９日現在）〔裏面〕

・天王寺区 未来人材育成に関する取組について

・天王寺区内の教育行政に関するアンケート

天王寺区教育会議委員名簿

令和2年9月9日現在

（敬称略）

学校名等	氏名	所属団体・役職等
天王寺中学校	一宮　義孝	学校協議会委員
夕陽丘中学校	香川　裕美	学校協議会委員
高津中学校	原　弦史	学校協議会委員
天王寺小学校	米川　明	学校協議会委員
大江小学校	荒木　祐二	学校協議会委員
聖和小学校	角谷　知章	学校協議会委員
五条小学校	井澤　尚弘	学校協議会委員
生魂小学校	鈴木　和行	学校協議会委員
桃陽小学校	真野　有紀	学校協議会委員
味原小学校	永井　正吾	学校協議会委員
真田山小学校	竹内　欣士	学校協議会委員
区政会議 子育て・教育班	井川　満裕	区子ども会育成連合協議会
	出水　眞由美	公募委員
	井上　宏和	区青少年指導員連絡協議会
	植田　泰央	区民生委員児童委員協議会
	頓名　公文	天王寺連合地域活動協議会
	中谷　敏子	五条地域活動協議会
	福永　紀代子	区母と子の共励会
	三宅　亜希子	公募委員
	山本　まゆみ	公募委員

オブザーバー	三木　健史	大江小学校長
	中務　高俊	夕陽丘中学校長

天王寺区役所	加藤　憲治	天王寺区担当教育次長
	吉村　悟	天王寺区教育担当部長
	糸井　英夫	教育委員会事務局総務部 天王寺区教育担当課長
	岩上　一人	教育委員会事務局総務部 天王寺区教育担当課長
	渡邉　衞	教育委員会事務局総務部 天王寺区教育担当課長代理

令和２年度　第２回天王寺区教育会議

天王寺区 未来人材育成に関する取組について

校長経営戦略支援予算（区担当教育次長執行枠）（３年度予算案 290万円（２年度 290万円））

１　目的

分権型教育行政を施策面でも推進するため、平成28年(2016年)度から区長（区担当教育次長）が事業を企画・立案して執行できる「校長経営戦略支援予算（区担当教育次長執行枠）」を設け、学校のニーズを踏まえた施策を各区で実施する

２　実施概要（当区の取組）

学校が掲げる教育目標の中から区が重視する施策分野において、学校連携による取組を行うことのほか、各学校が自校の特色・課題を反映させた取組を実施する（世界に通じる文教『都市』推進事業）

○２年度の取組

➢ 【学校連携】音楽を通じた人材育成事業（小学校音楽交流会、バリアフリーコンサート）

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止

➢ 外部指導者等招聘事業（授業・部活動への外部講師の招聘）

※新型コロナウイルス感染症の影響により取組を縮小

・元ＩＣＴ支援員による特別授業（天王寺小、１月～３月）

・プロ奏者による吹奏楽指導（高津中、８月）

➢ 学校教育環境向上事業（ＩＣＴ教育の充実、学力・体力向上等環境整備）

・教室へのプロジェクター等壁面設置（生魂小、五条小）　・ＩＣＴ機器の購入（五条小、夕陽丘中）

・プログラミング教材の購入（聖和小）　・理科指導教材の購入（大江小）　・学習用テーブルの購入（天王寺中、高津中）

・体育等学校用品の購入（生魂小、桃陽小、味原小、真田山小、夕陽丘中）

各校のニーズを聴取し、予算を組み替えて取組を実施

３　目標・達成状況

・目標：学校、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる教育会議委員 80%以上　・実績：未測定(元年度 80%、30年度 100%)

４　次年度以降の方向性

・今後も学校ニーズを把握しながら、学校の特色づくりや課題解決に向けた取組を実施し、教育活動を支援していく

・バリアフリーコンサートは２年度をもって終了し、３年度から新たな連携事業として「(仮称)中学校総合文化祭」を開催する

中学校キャリア教育の支援　（３年度予算案　７万円（２年度　７万円））

１　目的

仕事について実践的に考え体験する機会を中学生に提供し、未来の大阪・日本においてイノベーション（新たな仕事をつくりだす、今ある仕事を変革させる等）を起こせる人材の育成をめざす

２　実施概要

これまで区役所で実施してきたインターンシップ先やテンサポ（天王寺区サポーター制度）登録事業者から、学校が行う職業講話に講師を派遣し、また、職業体験先として紹介する

○２年度の取組（対象はすべて２年生）

- ➢ 12月４日（金）天王寺中　８業種の講話から２講話を選択し受講。区役所からは２講話の講師を派遣
  - ・マッスル㈱（ロボット産業）　・Ｊ：ＣＯＭ（ケーブルテレビ）
- ➢ 12月11日（金）天王寺中、12日（土）夕陽丘中　・ＪＡＸＡ（宇宙技術）
- ➢ ２月３日（水）夕陽丘中　９業種の講話から２講話を選択し受講。区役所からは４講話の講師を派遣
  - ・むさしドリーム眼科（医療）　・ことのは法律事務所（法律）
  - ・マッスル㈱（ロボット産業）　・天王寺郵便局（郵便）

３　参加生徒の主な意見

- ・自分の将来について考える良いきっかけになった
- ・普段聞くことのできない職業の方から話を聞けて考え方が少し変わった
- ・自分が叶えたい夢について考えることができた
- ・自分のやりたいことを見つけて努力することが大切だと思った

［職業講話の様子(夕陽丘中学校)］

４　目標・達成状況

・目標：自分の将来に役立つと感じる 70%以上　・実績：77%（元年度 60%、30年度 79%）

５　次年度以降の方向性

職業体験・講話受入先の情報共有を積極的に行い、各校のニーズに応じたキャリア教育を支援する

新規　こどもサポートネット事業　（教育委員会事務局、こども青少年局事業）（３年度予算案 825万円（２年度 813万円））

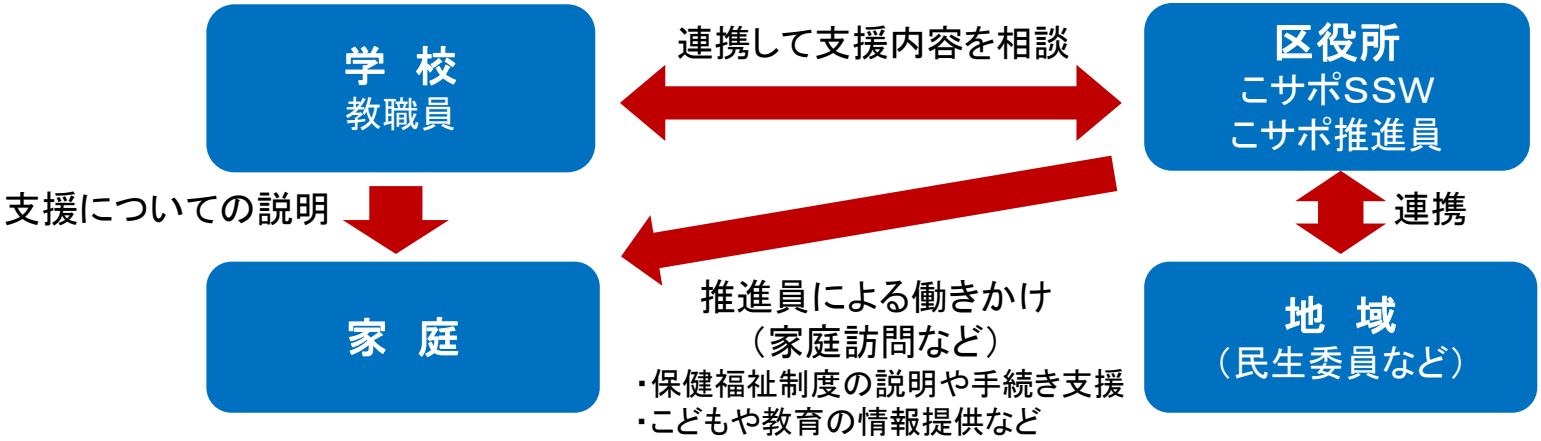
１　目的

課題を抱えたこどもや子育て世帯を小・中学校において発見し、学校と区役所が連携して教育的な支援、保健福祉の支援制度や地域資源等の適切な支援につなぎ、こどもと子育て世帯を社会全体で総合的に支援する

２　実施概要

子どもたちの学校生活の様子を通して、学校とスクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）や保健福祉分野の支援をよく知る区役所職員（こどもサポート推進員）が連携して話し合い、その児童生徒やその世帯が利用できる制度を紹介したり、手続きの手伝いを行う

【こどもサポートネットの流れ】



３　支援実績等（２月末まで）

・学校と区役所との会議　11校29回　　・ケース数　25件

４　学校からの主な意見

・学校と区役所との会議実施により、担任がひとりで抱え込むことなく支援を行うことができた。活用できる福祉制度を知ったことで福祉祉サービスの利用を学校から提案することもできた
・こどもサポート推進員の定期的な家庭訪問などを通じて面談してもらえることで、生徒や保護者の安定にもつながり助かっている

５　次年度以降の方向性

学校との会議を定期的に開催し、地域とも連携しながら、子どもやその世帯が抱える課題・問題の解決に向けた適切な支援へつなげる

スクールカウンセラー事業（こども青少年局事業）（３年度予算案 1,188万円（２年度 1,090万円））

１　目的

いじめ・不登校等の子どもの問題行動等の未然防止や早期発見、早期解決

２　実施概要

小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、地域内の幼児から高校生までの本人・保護者等へのカウンセリングを行う

３　スクールカウンセラーについて

業務内容：不登校・いじめ等における心理に係る専門的知識・経験に基づく相談業務
勤務時間：午前10時～午後４時45分（６時間）（年間35週）　相談時間：１回１時間以内
申込方法：中学校保護者・生徒は当該中学校に、他の学校園の保護者・児童は在籍学校園を通じて校下中学校に申込み
（学校園を経由した申込みを希望しない場合は教育相談窓口へ電話することもできる）

４　相談実績等（12月末現在）

相談件数202件、うち解決改善件数（未測定）

元年度　相談件数214件、うち解決改善件数106件［49.5%］
30年度　相談件数220件、うち解決改善件数 94件［42.7%］
（全市目標：45%）

➢ 配置状況：天王寺中（火曜）、天王寺・聖和小（木曜）、大江小（金曜）
夕陽丘中（月・金曜）、生魂・桃陽小（火曜）、五条小（木曜）
高津中（水曜）、真田山小（月曜）、味原小（金曜）

※カウンセラーを増員し、３年度からはすべての小・中学校に１人ずつ配置（各校週１日配置）

５　学校からの主な意見

・カウンセリング及び空き時間は教室を回って児童の様子を見てもらっている
・保護者にもカウンセリングを受けてもらっている。カウンセリング後の教員への状況報告も丁寧にしてくれている

６　次年度以降の方向性

学校における活用状況を把握しながら、引き続き実施していく

学校図書館の活用（教育委員会事務局事業）（３年度予算案(24区)２億5,734万円（２年度　２億6,553万円））

１　目的

読書活動は、学力・知識の基盤となる言語力の向上に寄与するとともに、学力とも相関するものであり、教員を補助する人材を配置し、開館回数増、読書環境の整備をめざす

２　実施概要

学校図書館補助員を配置し(平成27年10月～）、学校図書館の開館回数の増（週７回開館目標）及び魅力ある学校図書館づくりを行う

３　学校図書館補助員について

職務内容：１人あたり２～３校を担当し、学校図書館の開館、貸出業務、環境整備等を行う
（学校図書館補助員コーディネーター（天王寺図書館勤務）が適宜学校を巡回）
勤務時間：１日６時間（各校週１日）

４　当区の状況について

（１）週当たりの開館回数(始業前、２～３限目で15分以上の休憩、昼休み、放課後のうち開館されている回数)

小学校　６．５回（平成27年７月配置前）→ 11．１回（元年度 11．６回、30年度 10．６回）

中学校　５．５回（　　〃　　）→ ８．７回（元年度 ８．７回、30年度 ８．３回）

（２）学校図書館補助員の配置　※当区は５名の補助員が交代で11校に勤務している

補助員①（聖和小㈭・真田山小㈮）、補助員②（生魂小㈫・五条小㈬・桃陽小㈮）、
補助員③（大江小㈫・天王寺小㈭）、補助員④（夕陽丘中㈬・天王寺中㈭）、補助員⑤（高津中㈫・味原小㈭）

（３）活動事例

特別支援・人権コーナーの設置、読書習慣に合わせ読書の木活動、多読者の表彰 など

５　目標・達成状況

・目標：週当たりの開館回数 各校８回以上（元年度までは各校７回以上）

・実績：目標達成(11校中)８校　（元年度 11校、30年度 11校）

６　次年度以降の方向性

コーディネーターと連携を深め、児童生徒がより図書に親しめる学校図書館づくりをすすめる

グローバル人材の育成 【対象:5･6歳児とその保護者、小学生】（３年度予算案 240万円 （２年度 237万円））

（天王寺区「英語交流･国際理解教室」）

１　目的

グローバル社会において英語を国際共通語として意欲的に海外に挑戦し活躍（英語イノベーション）できる人材を育成するため、
低年齢期から海外の文化・行動様式に対する理解を深めるとともに、外国人とのコミュニケーション力の育成をめざす

２　実施概要（２年度受託事業者：(公財)大阪国際交流センター）

対　象：区内在住の５・６歳児とその保護者、小学生

定　員：５・６歳児とその保護者30組・60人、小学生計180人（低学年90人、中学年60人、高学年30人）

日　程：５・６歳児とその保護者「動物の名前と鳴き声」 ９月27日(日)12組・24人

小学校低学年「あいさつから異文化理解」 ９月６日(日)午前20人・午後７人、 ９月27日(日)13人

小学校中学年(４回連続講座)①10月４日(日)午前12人・午後７人、②11月29日(日)午前12人・午後７人
③12月13日(日)午前10人・午後６人、④12月20日(日)午前13人・午後５人

小学校高学年(４回連続講座)①10月４日(日)７人、②11月29日(日)７人
③12月13日(日)６人、④12月20日(日)６人

(各回テーマ[中学年・高学年共通])①「あいさつから異文化理解」、②「世界の服」、
③「世界の学校生活」、④「地球市民として大切なこと」

［親子英語体験教室］
(5･6歳児とその保護者)

３　参加者の主な意見

色々な国のあいさつが分かってうれしかった／もっと世界のようすについて知りたい
これからもたくさんの英語を覚えて会話したい／子どもが自発的に英語に取り組めてよかった

［地球市民として大切なこと(発表)］

４　目標・達成状況

・目標：参加者の満足度 90%以上　・実績：87%（元年度 91%、30年度 92%）

５　次年度以降の方向性

・低学齢の段階から、外国の人や文化、英語に触れる機会をできるだけ多く提供するため継続して実施する
・３年度はこれまでの講座型事業に加え、遊び・ゲームやワークショップなどを通じて多文化を体験し学ぶイベント型事業を実施する

天王寺区ジュニアクラブ事業【対象:小学4年生～高校生】（３年度予算案 26万円（２年度 26万円））

１　目的

「やさしく思いやりのある青少年の健全育成」とともに「将来の地域活動を担う人材の育成」をめざして、平成19年度より実施

２　実施概要

学校・地域との協働により、地域行事へのボランティア参加や施設見学・体験を行う。（年５回程度）
［２年度の取組］天王寺の歴史にふれよう！～真田幸村の謎を探る～　10月11日（日）参加者 33人
※新型コロナウイルスの影響により６月・８月・12月・２月の活動は中止
［２月現在会員］91人（うち小学生39人）（２年度新規会員 13人）

３　参加者の主な意見

みんなと一緒に天王寺のことが知れてうれしかった／地元だけどあまり知らなくて勉強になってよかった
地域にどんな場所があるのかもっと知りたい／もっと知らない歴史について学びたい

４　目標・達成状況

・目標：活動の趣旨（ボランティア等）が理解できた 70%以上　・実績：97%（元年度 100%、30年度 89%）

５　次年度以降の方向性

・子どもたちが参加したいと思う活動となるよう、３年度は会員の子どもたちの意見を聴取する場を設け、今後の活動内容に反映する
・学校とも活動状況や子どもたちの参加状況等の情報共有を図り、連携の強化に取り組む

こどもの居場所等における学び・生活サポート事業【対象:小・中学生】(3年度予算案 101万円（2年度 101万円))

1　目的

民間事業者や学校等と連携し、支援を要する子どもの学力向上と精神面の支援につなげるため、「こどもの居場所」での学習支援・生活相談を行うサポーターの活動を支援する

2　実施概要

・居場所における「学び・生活サポーター」の派遣（上限992時間　1,000円/時間）
・「学び・生活サポーター」は、子どもの学習指導・精神面の支援に知識・経験のある者（大学生、教諭・塾講師等経験者など）

3　区内のこどもの居場所等における参加者数等 ※２月末現在　（参考）天王寺区子ども・子育てプラザ（味原町）【本市施設】

⑴ 啓林館Tomorrowサポート教室（大道４丁目）	第２・４水曜	17:00～20:00	※活動休止中	
⑵ 寺田町ジオラマこども喫茶（寺田町２丁目）	月～金曜	18:00～21:00	参加者１名（延べ 51名）	51回開催
⑶ みんなで学ぶ教室（堂ケ芝２丁目）	水曜 18:00～20:00	土曜 13:00～17:00	参加者８名（延べ109名）	29回開催
⑷ おにぎりカフェけんちゃん（清水谷町）	木曜・日曜以外	15:00～18:00	参加者10名（延べ 28名）	８回開催
⑸ 味原小学校	火～金曜	14:30～15:30	参加者４名（延べ200名）	103回開催
⑹ 夕陽丘中学校	月～金曜	15:30～17:30	参加者21名（延べ 48名）	13回開催

4　参加者の主な意見

テストで前よりも点数が上がった／色々なプライベートの話を聞いてもらえた

5　目標・達成状況

・目標：サポートを受けて改善した(勉強が分かるようになった等) 70%以上
・実績：勉強が分かるようになった 88%、話を聞いてもらってよかった 100%
（元年度 71%、30年度 92%）

［みんなで学ぶ教室］

［おにぎりカフェけんちゃん］

6　次年度以降の方向性

民間が設置する居場所の周知を行うとともに、支援を要する子どもの直接的なサポートにつなげるため、学校とも連携し、学校の放課後等にもサポーターを派遣し、子どもの状況に応じた居場所での支援につなげる

民間事業者を活用した中学生学習支援事業【対象:中学生】（３年度予算案　４万円（２年度 11万円））

１　目的

・中学生の基礎学力の向上・学習習慣の形成を図るため、各区で民間事業者を活用した課外学習を実施
・当区は「個別指導 天王寺塾」として、天王寺区民センターと天王寺区子ども・子育てプラザを会場に開講

２　実施概要（実施事業者：家庭教師のトライ）

対　象：区内在住の中学生
場　所：夕陽丘教室（区民センター）　　月・木　①18:00～19:10／②19:15～20:25
　　味原教室（子ども・子育てプラザ）　火・金　①18:00～19:10／②19:15～20:25
回　数：週２回（１日２コマ　生徒はいずれか希望の時間帯を選択）
時　間：１回70分間　【授業の流れ】①前回の確認・復習テスト（20分間）
　　②新しい単元の学習（40分間）
　　③まとめ・自宅学習の指示（10分間）
受講料：月10,000円（塾代助成カード使用可）
　　※塾代助成カード：学習塾などで月1万円まで利用できるカード(所得制限あり)
２月現在参加生徒：17人（夕陽丘教室　８人、味原教室　９人）
※３年度からは㈱エデュケーショナルネットワーク（Ｚ会グループ）に実施事業者が変更

３　参加者の主な意見

・参加して勉強がよく分かるようになった　７人、少し分かるようになった　８人、変わらない　１人
・楽しく勉強できている／分からないところがすぐに質問できるところがいい
　もともと学校以外で勉強する習慣がなかったが、天王寺塾に通い始めてから少しずつ習慣になってよかった

４　目標・達成状況

・目標：参加前より学校の授業がわかるようになった 70%以上　・実績[12月現在]：93%（元年度 93%、30年度 85%）

５　次年度以降の方向性

必要な子どもに受講してもらえるよう適宜周知を行う

防災教育の取組

１　各校の防災教育の取組への協力

学校が実施する児童生徒を対象にした防災教育に協力

（取組内容）防災クイズ、防災マップづくり、紙皿・紙スリッパづくり、備蓄物資の紹介、防災講話（中学生対象）　など

○２年度の取組

生魂小（10月）

五条小（11月　校庭キャンプ）

高津中（３月）

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止等】

天王寺小・大江小・聖和小

桃陽小・味原小・真田山小

天王寺中・夕陽丘中

［中学生向け防災学習動画］

［紙食器づくり（生魂小学校）］

※防災授業に代えて小中学生向けの動画教材を作成し、学校の要望に応じて配信したほか、区YouTubeチャンネルにも掲載

２　地域での防災の取組への協力

・地域の防災関係行事（子ども向け行事）：聖和防災ふぇすた（今年度は動画配信形式）

・コロナ禍における避難を想定した避難所開設・運営訓練：桃陽地域

・その他、各地域で実施する防災訓練

4月開講！

Z会グループによる

天王寺塾

受講生募集！

天王寺区では中学生の基礎学力の向上および学習習慣の形成を図るため
区内在住の中学生を対象とした「天王寺塾」を開講しています。

対象	天王寺区在住の中学1～3年生
料金	月10,000円（税込） ※塾代助成カードが利用できます（月10,000円→実質無料）
時間	1コマ目　18：00～19：10 2コマ目　19：15～20：25
科目	数学 ／ 英語 ／ 国語

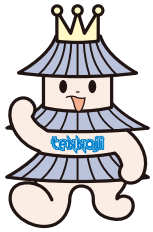
1日2コマ受講可能！1コマだけの受講も可能

※塾代助成カードとは

学習塾などで月1万円まで利用できるカードです。所得制限があり、
申請手続きが必要ですので詳しくは「大阪市塾代助成事業運営事務局」まで
お問い合わせください。（TEL：06-6452-5273）https://www.juku-osaka.com/

夕陽丘教室

場所	**天王寺区民センター** 天王寺区生玉寺町7-57 四天王寺前夕陽ヶ丘駅から徒歩1分
曜日	**月曜日・木曜日**
定員	**25名程度**（先着順）



味原教室

場所	**天王寺区子ども・子育てプラザ** 天王寺区味原町9-14 鶴橋駅から徒歩8分
曜日	**火曜日・金曜日**
定員	**8名程度**（先着順）

Point
復習を専門とした講師1：生徒5以下の少人数指導です。

Point
受講生ごとの習熟度に合わせた教材を使用します。

Point
学習計画表をもとに担当の講師と二人三脚で学習します。

Point
自習スペース完備
自主学習のための貸出教材もあります。

天王寺塾のお申込み・お問い合わせ

実施事業者：Z会グループ　株式会社エデュケーショナルネットワーク

申込受付：3月8日（月）10：00～ ※定員になり次第、受付を終了いたします。

申込み　Mail: koumin_kansai02@e-network.jp

問い合わせ　TEL: 06-6136-1113（平日10:00～18:00）

件名を「天王寺塾申込み」としていただき、下記6点を本文に記入して送信してください。
①生徒氏名 ②学校名 ③学年 ④電話番号 ⑤住所 ⑥希望する教室（夕陽丘/味原）

担当：天王寺区役所市民協働課（未来人材育成）TEL：06-6774-9743